

ご挨拶



3月、校長室から見える梅の花や、木の枝にとまりさえずる鳥たちの風景、4月の満開の桜に、心が洗われます。

現在、新型コロナウイルス感染症が大都市圏を中心に拡大を続け、本県でも感染者が増加するなかで、4月9日（木）より再度の休校となり、そして4月13日（月）石川県独自の「緊急事態宣言」が出されました。

しかし、こんな時だからこそ、みんなで力を合わせて、一人一人ができることをしなければいけません。

本校においても、ベテラン、若手関係なく先生たちが、生徒たちの高校生活再開に向け知恵を絞り、生徒の生活リズムの回復に向けたオンラインSTや、学力保証のための一部の教科における授業配信を試験的に開始するなど、汗をかいているところであります。

さて、4月8日（水）の始業式において私は、2、3年生に、質問力をつけるよう訓示しました。なぜなら、質問することで、何がわかっていて何がわからないかをはっきりさせ、さらに表現することで自分の考えを整理することができる一方、質問される側も気がつかなかった視点で考えることができる。つまりお互いに内容を深く掘り下げることができるからです。

同日に挙行了した入学式では、新入生に、これからは科学的根拠に基づいた判断が必要であり、本校での学びによりその力をつけてほしいと述べました。

本校の生徒たちの成長に携わることができることへの喜びを感じると同時に、彼らの可能性、人間力をさらに伸ばしていくことが本校の使命であると強く考えています。全教職員一丸となりこの使命に取り組んでいく所存であります。

令和2年4月16日

石川県立金沢泉丘高等学校長 宮本 雅春